

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 4 月 19 日

事務事業名		観光パンフレット作成配布事業				事業区分		担当		
		政策体系上の位置付け				新規/継続		事務事業No. 050301000548		
総合計画の施策名		0503 観光の振興				単独/補助		単独		
政策名		05 魅力と活力のある産業社会づくり				主要事業		対象		
施策名		03 観光の振興				市長マニフェスト		対象外		
基本事業名		01 観光PRの強化・充実				未来PJ事業		対象外		
						合併建設計画事業		対象外		
		財務会計上の位置付け				事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	07	01	04	01	00	観光事業			
法令根拠							単年度繰返し (年度~)			
						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
桜川市の魅力を多くの人々に知ってもらうため、パンフレット等を作成イベント等で配布する。	桜川市観光案内、ヤマザクラ・真壁の町並み関連パンフレット、ハイキングマップなどの作成

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
桜川市観光案内、ヤマザクラ・真壁の町並み関連パンフレット、ハイキングマップなどの作成	桜川市観光案内パンフレットの作成	部	0.00	25,000.00	15,000.00	15,000.00	15,000.00
	ヤマザクラ・真壁の町並み関連パンフレットの作成	部	0.00	0.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00
	ハイキングマップの作成	部	0.00	0.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00
				0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
市内、市外の人々	県民・首都圏の人口	千人	42,793.00	42,794.00	42,795.00	42,796.00	42,797.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
パンフレットを配布することで、多くの人々に桜川の魅力を知ってもらう。	真壁のひなまつり来訪者	人	100,000.00	80,000.00	80,000.00	80,000.00	80,000.00
	雨引観音	人	170,000.00	180,000.00	185,000.00	190,000.00	195,000.00
	ヤマザクラ来訪者	人	15,000.00	20,000.00	25,000.00	30,000.00	35,000.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	期間限定 総投入量
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	0	
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	0	
			一般財源	千円	120	1,170	1,000	1,000	1,000	
	事業費計(A)	千円	120	1,170	1,000	1,000	1,000			
人件費	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人			
	述べ業務時間	時間	95.00	365.00	315.00	300.00	300.00			
	人件費計(B)	千円	276	1,059	914	870	887			
トータルコスト(A)+(B)			千円	396	2,229	1,914	1,870	1,887		

事業費の内訳	28年度事業費 実績(千円)			29年度事業費 予算(千円)		
	11 需用費	1,170		11 需用費	1,000	
	合計	1,170		合計	1,000	

(4) 当該年度の実施内容		29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する		平成28年度にリニューアルした市観光案内を中心に、各種パンフレットを観光施設に設置して桜川市の魅力を発信する。また、市や観光協会HPにも掲載し、多方面から市のPRを行う。	現在の各種パンフレットの掲載内容を見直し、フォトコンテスト等で収集した写真を利用して改訂、充実化を図る。	ヤマザクラの里として、観光客目線のパンフレット作成を目指し他市町村の桜名所の物と比較して良い点は取り入れ、観光客受入れ態勢を整える。
<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 	➡			

事務事業名	観光パンフレット作成配布事業	事務事業No.	50301000548	所属課	商工観光課
-------	----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 桜川市の観光PRのために開始された。桜川市のヤマザクラを中心に、リピーターをはじめ観光客は徐々に増えつつある。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 現状に合った、より見やすいパンフレットの作成が要望されている。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 改革改善を行う ・昨年度実績を把握し、パンフレットの配布場所や時期を再度確認する。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ヤマザクラを核とした街づくりにおいて、市を紹介する手段として各種パンフレットの作成は欠かす事ができず、結果に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 公平的な立場から市を紹介するパンフレットを作成することで、正確な情報を外部に発信する必要がある。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 確かで新しい情報を発信するため、既存パンフレットのリニューアルを実施することで質の向上につながる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 確かな情報を発信することが困難となるため、観光客に混乱が生じる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 観光協会運営支援事業 <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 性質上、類似事業との統廃合は難しいが、より内容が充実したパンフレットを作成できるよう互いに連携していく。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 新規で作成すると作業時間が増えてしまう。既存パンフレットのリニューアルを実施することで大幅にカットできる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内全域の中から観光客から問合せが多い場所を中心に掲載し、ニーズに添えており適正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 桜川市観光案内については、掲載情報が見にくいとの声があり平成28年度にリニューアルを行った。これからも定期的に情報を見直し、常に新しい物を観光客に提供できるようにする。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 定期的に情報を見直し、常に新しい物を観光客に提供できるようにする。																						
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
---	---